



今年創立した富良野メロン生産組合の組合長に就任した亀渕貴史さん

9月に開催した北海道MKV会研修会、最後に紹介するのは富良野市上五区の亀渕貴史さん。メロンを主体にタマネギ、スイートコーンなどの栽培で多忙な毎日を送っている。そして今年創立した富良野メロン生産組合の初代組合長に就任したほか、北海道キンメルティーカ(事務局は大学農園)の副会長を務めるなど、北海道メロンのリーダー的存在として活躍中である。

一日の寒暖差が大きい

赤肉メロン主体に220ha

富良野盆地は1日の上五区地区が古くから会長等々、名だたる栽培が大きめのメロン栽培が行われてメロン作り名人がいるところだ。高田邦雄さん(山部)、中山上五区の亀渕貴史さん(山部)、ふらんもその一人で、富良野中心部から国道を通じて南に7kmほど行ったところだ。現在は赤肉メロンが主流となってい海林剛さん(上五区)、幸雄さん(上五区)、など広大な圃場があり、すぐ近くに空知川が流れている。ハタ。

名だたる栽培者揃い

2期作目はR-113

「1作目はルピアレン産地」さんとかは六月を6月末に収穫し終わって、そのあと全部かたづけての2期作目です。品種はR-113で7月7日に定植して交配が8月4日頃、ピッヂ80の1株4果どりにしています。前は5果どりとかやつていましたけれども、確実に取った方がいいかな」ということで、JAきりR-113がいいですね。

90、100、130kgなど様々で5年ほど前から金部

富良野メロン生産組合

初代組合長 亀渕貴史氏

富良野市上五区

富良野メロン生産組合長の技術と経営拝見

P.O.フィルムに切り替えており、アグリスターも発売当初にタマネギの育苗ハウス等を使っていました。そして今年はアグリスターをメロンハウス3棟に展張して栽培している。このP.O.フィルムは透明性、無滴持続性、強度に優れていることが大きな特

えている。三菱ケミカルアグリドリームのインスター等を展張して

いた。そして今年はアグリスターをメロンハウス3棟に展張して栽培している。このP.O.

フィルムは透明性、無滴持続性、強度に優れ

ている。このP.O.フィルムは透明性、無滴持続性、強度に優れ

ている。このP.O.フィルムは透明性、無滴持続性、強度に優れ